



少しずつ気温が落ちつき、時々吹く風が心地よい今日この頃です。朝夕は涼しくなり秋が近くまでやってきています。秋の始まりを子どもたちと感じつつ、来月も楽しく過ごしていきたいと思います。

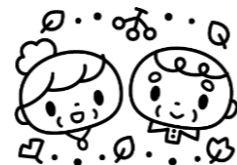
今年度も半分が過ぎ、日々の生活から子どもたちの頼もしい成長を感じています。自我が強くなり「自分で！自分で！」と様々なことに期待を持って挑戦したり、友達と関わる中で接し方を知り一緒に遊ぶ事に喜びを感じながら過ごしています。



今月は、まだ夏の残暑から室内で過ごすことが多かったですが、室内でも体を動かして遊びました。鉄棒や平均台は、子ども達も大好きで上手に手で体重を支えてぶら下がったり、バランスをとりながら平均台の上を歩いたりできるようになったことを「すごいね！」と褒めてもらうことで更に自信に繋がり、得意気にアピールして教えてくれます。初めてのことに不安を感じたり、戸惑いを感じ、中々遊び始めることが出来ない子もいますが、保育教諭の誘い掛けや友達が遊んでいる姿に刺激を受け、自らやってみようと新しい事にも前向きに挑戦できる子が増えてきました。

先日の祖父母参観お世話になりました。大好きなおじいちゃん、おばあちゃんの顔をイメージしながら、一緒に作ることができたので子ども達も凄く嬉しそうでした。使用した材料が残っていたので整理していると「じいじ！ばあば！」と祖父母参観でしたことをよく覚えている子がいました。クレパスを渡すと目や口をイメージして描いたり、両面テープを自分で剥がして画用紙に貼ったりしながら制作遊びを楽しんでいました。

その姿から、祖父母参観での楽しかった思い出がとても印象的だったのが伝わってきました。



☆エピソード☆

少しずつ自我が強くなり室内遊びでは、欲しいものを両手に抱えて一人遊びをしたり、友達が使っている玩具を持って行ってしまふことがあります。そのような場面を見かけた時には、保育教諭が仲介に入り「ちょうだい」「どうぞ」のやりとりを促しています。ある時、友達が使っているものが欲しくなった A ちゃんは、その子の所に行きじーっと眺めていました。しばらくして保育教諭が声を掛けようとしていた時です。

「だい！（ちょうだい）」と手を出しながら一生懸命相手に自分の思いを伝えることができました。友達も「これ？こっち？」と相手の子の言葉に気づいて、使っていた玩具を貸してあげることができ、子ども達だけで上手く解決が出来ていて関心しました。月齢差も大きいクラスなので、子ども同士でのコミュニケーションにまだ配慮が必要だと感じていましたが、集団生活を通して言葉や仕草で相手に思いを伝えるという表現力が育ってきています。



○絵本紹介○

今月は、指先を使った手遊びが絵本になっている“おおきくなったらなんになる”を読みました。読み始めた頃から、保育教諭の手を見て同じように、指を動かしながら興味を持ってみている子が多かったです。1の指から始まりお医者さんやケーキ屋さんなどお店屋さんになりきったり、警察官やお相撲さんになったりします。手遊びが歌になっているので、子ども達の方から指や手を動かしてリクエストしてくれることがあり、一人一人がなりきって楽しんでいます。



おしらせ

10月から衣替えになります。
 スモックは、黄色い襟の冬スモックになります。
 ズボンは、体操ズボンを履いて登園して下さい。
 帽子は、黄色い通園帽子になります。
 よろしくお願い致します。

○10月の予定○

- 20日 身体測定
- 31日 お誕生会

